

Asia meets Asia 2001 新聞・雑誌紹介記事

【読売新聞 11月20日夕】

★アジア現代演劇祭
 アジアの現代演劇が集まる「Asia Meets Asia 2001」が、21日から25日まで東京・高田馬場のプロトシアターで開かれる。今年が3回目。インドネシアのシアターマンドレイリ、タイのマカンボンシアターグループ、台湾のボディフェイスタジオという日本初登場の3劇団が、日本からはDAMなど三劇団が参加する。各国の演劇事情の報告を兼ねたシンポジウム(21日)、ワークショップ(22日)に続き、23日から1日3回連続上演される。03・3368・0490。

【日本経済新聞 11月15日】

■「アジア・ミーツ・アジア2001」 21-25日、下落合・プロト・シアター。インドネシア、タイ、台湾、日本の計6劇団が集まり上演や交流を行う。3本の公演と交流会の付いた1日券が4500円。フリー券7000円。劇場☎03・3368・0490。

【デイリーヨミウリ 11月22日】

THEATER—Asia Meets Asia 2001: Six contemporary Asian theater groups from Indonesia, Thailand, Taiwan and Japan perform and take part in programs to promote international exchange. Workshop by the foreign theater groups. Nov. 22, 7 p.m. Three performances and parties each day. Nov. 23-24, 4 p.m.; Nov. 25, 2:30 p.m. at Proto Theater in Takadanobaba, Tokyo. (03) 3368-0490

【ぴあ 広告掲載】



インドネシアの(マンディリ)の舞台より 文:土塚あゆみ

アジアの現代演劇を、観るだけでなく、直に触れ、体験してみよう!と企画されたのがこれ。97、98年に続き3度目の開催となる今回は、インドネシアのマンディリ、タイのマカンボン、台湾のボディフェイスタジオといった初来日となる3劇団と、日本からシンジャントロフスボイセイ、D.A.M.、Unit OM I 2が参加。5日間に渡り、公演、シンポジウム、ワークショップなどを開催する。

11月23日金公演開始 P263

Asia meets Asia 2001

▶11月23日金~25日日
 プロト・シアター
 旧券前売-4000 1日券当日-4500 他
 各参加劇団の公演時間についてはP263
 264参照。
 問合せ=プロト・シアター☎03(3368)
 0490 ☎315-374 前売りは公演日2日
 前まで。当日券は開演2時間前から発売。

普段は「近くて遠い」アジアの現代演劇。とびきり新鮮で魅力的なそのステージを、たっぴり楽しむチャンスです。

Pick Up
 Asia meets Asia 2001
アジアのミーツ・アジア

【アリス新聞】 (タイニイアリス発行)

Asia meets Asia 2001 中村和夫

……前略

以上、全体を見渡してすぐ気が付くことは、外来の劇団は直接社会的政治的題材を扱うことが多いが、日本の劇団はむしろそれらに無関心であるということ。これは上演前のシンポジウムの時に既に話題になっていた。これはやはり社会状況の違いが大きい。日本の作り手/受け手共に問題意識が低いというのは事実かもしれないが、日本ではそれだけ巧妙に管理が進んでいるということなのだ。作り手が直接的表現を取らないからと言って無関心であるとは限らない。もっとしたたかな表現を模索しているのだと思いたい。

最後に特筆したいのは、毎晚上演後の交流会が作り手から直接話が聞ける場を提供し、非常に実りあるものになったこと。これは予想以上であった。